

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、地域との関係づくりをしている。また公民館の文化祭に作品の展示をしたり、区民運動会の見学、祭り、保育園の園庭開放に参加している。施設内の防火訓練に、近隣の参加協力を得ている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	家族の他、区長、民生委員、市職員、法人役員、管理者、職員で構成され、2ヶ月に1回開催し、記録もある。年間計画の進捗状況、行事報告、要望などの情報交換や意見具申を基にサービス改善や向上を図っている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	月1回は行政に出向き、ホームの実情やケアサービスの取組み等の報告をしたり、アドバイスをもらい協力関係の構築に努めている。市主催の在宅ケア推進会議に出席し、他事業者との交流を図っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	外部者が参加している運営推進会議で、家族の意見、要望等を表せる機会があり、運営に反映されている。利用者の要望は職員が日々の会話の中から聞き出している。何でも言いやすい雰囲気心がけている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

民家改修型の住宅で利用者が家族のように一緒に、ゆったりと生活をしており、地域の自然と環境に馴染んだホームである。運営推進体制が整い良好な関係の下で運営され、サービスの改善に反映させる努力が伺われる。また、職員はQCサークル活動をとおり、課題の改善を図り利用者のサービス向上に繋げ実績をあげている。地域自然の特性を活かした利用者の外出支援を、QCサークル活動のテーマとして掘り下げて取り組み、より利用者のサービス向上に向けていくことが今後の課題とされる。

- 外部評価軽減要件
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
 - 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
 - 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
 - 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の
実践状況（外部評価）が適切であること。
- 外部評価軽減要件④における県の考え方について
外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の
取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域とのつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。